

組織拡大委員会議事録

1. 日 時 令和3年10月5日(火) 10時～11時20分

2. 場 所 春日井商工会議所 4階 会議室E・F

3. 出席者数 委員長 1名

委 員 6名

事務局 5名

合 計 16名

4. 議 題

1. 春日井商工会議所の現状及び近隣会議所・同規模会議所との比較について

2. 会員増強の取り組み状況について

3. その他

3. 議 事

事務局 伊藤 伊月

定刻に至り、開会を宣し奥村委員長に挨拶を求める。

委員長 奥村 久子

挨拶を述べる。

事務局 伊藤 伊月

委員会規程により、議長に奥村委員長を指名し、議長就任を要請する。

(委員長 議長に就任)

議 長 奥村 久子

議事に入り、議題1について事務局に説明を求める。

事 務 局 松井 幸太

資料に基づき、会員数の推移、令和3年度の部会別加入・脱会状況、春日井商工会議所の現状について説明。

議 長 奥村 久子

議題1. について、質問・意見を求める。

委員 峠 貴斗

この資料で出されている4ページのデータでは、春日井がどのような状況なのかわかりづらい。

事務局 服部 佳江

日本商工会議所では、全国の商工会議所を市内事業所数に応じてグループ分けを行っており、春日井が属するグループ内で順位付けをした参考資料である。

委員 峠 貴斗

この順位は喜べるものなのか。

事務局 服部 佳江

前回委員長との打ち合わせを実施し、この順位を上げることが、今後目指す目標になるのではないかとの話になった。

委員 峠 貴斗

例えば何位になりたいみたいな数値はあるのか。

事務局 服部 佳江

このグループの中ではTOP10になるように目指していきたい。

議長 奥村 久子

目標とする4,300社の数字の根拠がわかりづらかったが、4,300社になることで組織率TOP10入りができるとの理由付けがあると明確になると思う。

今年の時点で、組織率が40%を超えているので、難しい目標ではないと思う。

事務局 服部 佳江

コロナ渦の中で、全国的に会員数が増加している傾向があることから、やはり継続的な加入促進が必要と考えている。

委員 峠 貴斗

会報などで「全国TOP10」のような情報を流すことで、事業所への周知につながるのではないか。不動産業の移動について教えてほしい。

事務局 服部 佳江

サービス業部会に属していた不動産関連の事業所を建設業部会に新たに設置した不動産分科会に移動した。これは、空き家対策などの事業を行うにあたり、建設業と不動産業が連携を図りやすくするために実施した。

委員 峠 貴斗

組織が効率よく動けるようにするためには、アメーバ経営のように細分化していることが良いので、この移動は良いと思う。例えばサービス業部会ももっと分けていくことも検討していくのが良い。

事務局 伊藤 伊月

部会の再編については、ご意見をいただいていることから、来期に向けて、部会再編も検討していくので、部会や委員会で意見をいただきたい。

議長 奥村 久子

続いて、議題2について事務局に説明を求める

事務局 伊藤 伊月

資料に沿って、会員増強運動！2021及び事業スケジュールについて説明。

委員 宅間 秀順

DMの発送を行って成果はどうか

事務局 伊藤 伊月

今年の5月に発送して、2～3件の加入があった。

委員 宅間 秀順

費用対効果が少ないのではないか。

事務局 伊藤 伊月

これまで発送したDMは発送した後のフォローがなかなかできていなかったことから、会議所利用のある事業所に対してDMによる加入促進・フォローを実施していく。

委員 宅間 秀順

事業所は会議所に入るメリットをシビアに求めている。

委 員 峠 貴斗

委員会の活動が退会防止に役立っていないことを考えなければならない。例えば雇用促進人材委員会の活動が魅力的になれば退会防止にもつながっていくと思うことから、委員会のアプローチを考えていかなければならない。また、会議所という団体が集金をしなければならぬ状況を変えていかないとはいけない。

春日井は従業員が10名以下の事業所が7割から8割という中で、このような事業所を支えていくためには、残り2割の企業が仕事を小規模事業所に供給していくような連携が必要であり、このような連携を会議所のメリットとして非会員事業所に伝えていけるとよい。

事務局 服部 佳江

資料の7～8ページについて説明。

委 員 峠 貴斗

「あいスタ」はとても旬なキーワードであり、チラシなどでPRしてはどうか。「あいスタ」申請は、飲食店にとって営業時間が延長される。申請していないところも多いため、申請支援を強く打ち出してはどうか。

このメリットシートはとても見やすくわかりやすい資料だと思う。このシートをもとに非会員にも訴求してほしい。

事務局 服部 佳江

「あいスタ」申請は会員事業所に対して、申請支援を行っているが、PRが不十分かと思うので、積極的に行っていく。飲食店は前の資料でもわかる通り、会員を増やす余地の高い業種であり、サービス業も同様のことが言えるので、チラシ等でPRしていきたい。

委 員 青山 博徳

つかエールは、今回407社が参加していただいている。また、登録費用には、会員3000円・非会員13000円と差を設けており、会議所会員になるように誘導する仕組みとした。

現在、会員数が4300社と瞬間的に増加しているが、今後2年目以降に会費が払わない事業所が増えてくると思われるので、フォローが大事になると思う。

法人会では、新設法人への説明会を行っているので、この説明会の時に会議所加入をPRしてはどうか。また、改正税法の研修会を行っており、非会員事業所も来られるので、加入促進を図れるのではないかと。

委員 峠 貴斗

商店街に入っているが、会議所に入っていない事業所も多いのではないかと

委員 青山 博徳

そのような事業所も多くあると思う。

委員 柴田 啓統

J Cでも会議所に入っていない事業所の紹介を行っていきたいと思う。

委員 平澤 章江

わかりやすい資料があるので、最近始められた facebook でどんどん良い情報発信していくと良い。

委員 宅間 秀順

食品衛生協会内の非会員事業所に対してアピールできるチラシをもらえれば、ぜひいただきたい。衛生協会会員は市内に2000社ある。

委員 峠 貴斗

会議所は公の団体なので、宅間会長の力で加入促進を図ってもらいたい。

委員 青山 博徳

イーアス春日井がオープンし、多くのテナントが入店する。最近は大手の小売店が会員になることは難しいか。

事務局 服部 佳江

最近の傾向として、大手の企業として会員になるメリットが少ないため、会員になるよりは退会してしまう傾向がある。

委員 峠 貴斗

イーアス春日井は、地域貢献に力を入れており、様々な企画を行っている。とてもオープンに活動されているので、加入についても力添えをさせていただく。このコロナの中で、仲間が集まって助け合っていくことが必要であり、会議所のメリットをもっとPRしてほしい。今やらないといけないことがいっぱいある。

議長 奥村 久子

続いて、議題3. その他について事務局、委員より意見を求める。

委 員 宅間 秀順

今年から食品に関する規格（HACCP）の義務化が始まっているおり、法人・個人問わず対応しなければならない。これは、材料の購入先、保管方法、販売先まで、すべて記録するものである。食品衛生協会では会員に向けて指導をしている。

委 員 青山 博徳

来年からはインボイス制度が始まっていく。また、今後、コロナの第6波が来ると、今厳しい事業所がどんどん倒れていくのではないかと心配している。このような相談に対して会議所が窓口になればメリットになると思う。

委 員 峠 貴斗

常議員会や総会の場で、奥村委員長より組織拡大委員会の活動（目標4300社）について説明する機会を設けてPRしてほしい。

事務局 伊藤 伊月

次回の常議員会（11月）の場にて報告できるように調整する。

以上、終了

風岡副委員長より閉会の挨拶

時に、11時20分。